

Vol.17

発行日
2025.6.5



多伎元気な会 新聞

●発行元:多伎元気な会 ●事務局:〒699-0903 出雲市多伎町小田74-1 多伎行政センター内 ●TEL 0853-86-3111

出雲市市民協働事業

炭焼体験 in 多伎 炭出し・薪割り体験



2/23
日

炭の取り出し



薪割り体験

昨年度地元の人達が復元し炭焼を行った多伎元気窯から炭出し・薪割り・焼き芋体験イベントを開催しました。当日はこの冬一番の大雪ではありましたが28人もの参加者でにぎやかに開催できました。

道の駅キララ多伎“海辺の朝市”にて

3/23
日

瀬戸田レモンの苗木販売

レモンの普及促進として4回目の苗木販売を行いました。植えた後に葉が落ちて幹だけになった方もありますが、4月に低温の時期が続いたためです。枯れてはいませんのでそのまま水やりをすれば黒い芽が出てくるでしょう。



購入ありがとうございます

キララ多伎オートバイ神社

のぼり旗を寄贈

昨年11月に道の駅キララ多伎イベント広場北側に「キララ多伎オートバイ神社」を建立しました。このほど多伎神社後藤宮司様から「旅路平安祈願」ののぼり旗を寄贈していただきました。



2/7
金

ライダーの交通安全を願って

たぎの仲間たち

Vol.15

たけ かこ

田儀竹籠作ろう会

技術を磨き、自分だけの竹細工を作り上げる楽しみ!



平成18年(2006年)10月に多伎文化伝習館において、初代館長 故安井昇氏の発案で、「竹細工教室」が始まりました。

「家の周りに繁茂した竹の活用法はないか?」ということから始められたもので、山へ行き竹を伐り倒すことから始まり、その竹を使って作品を作るという教室で、「手箕(スンドリ)」「腰籠」「背負籠」「海苔ゾウキ」の4種類の作品でした。

平成24年(2012年)10月、毎年この教室に参加して、自主的に竹籠作りをしている有志の間で、「竹細工教室の修了者も増えたので、親睦も兼ね技術向上と伝統を伝えるための会を作らこい」という発案で本会ができました。

会の目的は「竹籠等竹細工の技術を習得し、その技術を後世に引き継ぐとともに、山林の竹被害を減少させることにより地域に貢献する」としています。

会員資格は「多伎文化伝習館の竹細工教室受講者、及び本会の目的に賛同する者」としており、東は松江から、西は美郷町まで多伎町以外の会員も多く現在賛助会員も含め90名を超すまでになっています。

令和3年の「出雲市市民文化賞」も受賞し、毎年多伎町文化祭にも出展、多伎文化伝習館の作品発表会にも展示し素晴らしい作品だと好評を頂いております。



竹採り



竹割

太い青竹を伐って割って削って、細いヒゴを作って何日もかけて編み自分の作りたい竹籠を作る、できた!うれしい!その楽しみで続けています。



講師指導



作品作り

まずは、多伎文化伝習館の竹細工教室を受講してみませんか?

会員の一般募集はしていませんが、竹細工教室を受講され、その後この会で更に技術を磨くことができます。



月日	イベント名	イベント概要	イベント場所
5月～6月	・初夏モルック大会 in 出雲市多伎町 (5/11)	・フィンランド発祥のスポーツ「モルック」大会を開催する。	ふれあい広場
	・多伎元氣な会新聞第17号発行	・多伎元氣な会の活動状況やイベント情報等を発信する。	全戸配布・HP掲載
	・出雲フィンランドサウナフェス in キララビーチ (6/1)	・サウナ×夕日の観光コンテンツとしての魅力を発信する。	キララビーチ
	・「日が沈む聖地出雲「園の長浜」多伎～出雲大社」 「THE SANPAI」【新】実証実験 (5/25)	・キララビーチから出雲大社までの15キロを歩いて主に海岸線(砂浜)を自らの足で歩いて出雲大社に参拝する事業をしまっち募集により実証実験を行う。	多伎～出雲大社
	・「世界一幸福な国フィンランド流ウエルネスイベント～フィンランドのユハンヌス(夏至祭)ぼく～(6/21)	・フィンランド夏至祭を体験 モルック、ヨガそして夏至祭の食べ物、飲み物を試食試飲する	多伎コミセン庭
	・集落応援隊 環境整備活動 (6/29 Am)	・多伎地域内の環境整備活動(草刈り等)を実施する。	西明自治会
	・2025 全日本土のう詰め大会 (6/29 Pm)	・災害時に役立つ「土のう」を作り大会を開催する。	ふれあい広場
7月	・キララまつりへの参画 (7/27)	・きらら祭り実行委員会メンバーとしてイベント広場でのステージイベント等の企画、準備、実施等に参画	キララ多伎イベント広場
	・かき氷事業	・キララ祭りでの屋台の出店(かき氷等)を始め出張屋台を実施する。	イベント広場他
8月	・スイムラン in 多伎 (8/3) への協力	・スイムラン第40回記念大会開催への協力	田儀港他
	・こども夏まつり他かき氷出店 (8/9)	・多伎地域の子供たちのイベント参加 ・希望事業所に出張(随時)	うなばら会館 町内
9月	・多伎元氣な会新聞第18号発行	・多伎元氣な会の活動状況やイベント情報等を発信する。	全戸配布・HP掲載
10月～11月	・柿の収穫	・約30本の柿畑の西条柿収穫 販売に繋げる。	後畑の柿畑
	・たき火(多伎美)体験 in 多伎	・たき火初心者を対象としたたき火体験イベントを開催する。	旧田儀小学校校庭
	・多伎ウイークの開催 (10/26～11/3)	◎10月26日から11月3日を「多伎ウイーク」としてさまざまなイベントを開催する。イベントチラシを各戸配布する。	
	・海辺のTシャツアート展 in 多伎 (10/26～11/3)	・キララビーチを使い多伎の子ども達が描いた400枚のTシャツアート展を開催する。	キララビーチ
	・キララビーチ海岸清掃活動 (10/25)	・Tシャツアート展設置前にビーチの海岸清掃活動を行う。	キララビーチ
	・オートバイ神社開所一周年記念事業 (11/3)	・令和6年設置したキララ多伎オートバイ神社でライダーの参加を集うオートバイミーティングを開催する。	未定
	・「日が沈む聖地出雲「園の長浜」多伎～出雲大社」 「THE SANPAI」【新】	・昔から変わらない園の長浜の自然、古の出雲の息遣いを五感で体感するウォーキングし出雲大社を参拝する。	キララビーチ～出雲大社
12月	・多伎元氣な会新聞第19号発行	・多伎元氣な会の活動状況やイベント情報等を発信する。	全戸配布・HP掲載
	・炭焼事業	・地域の指導者と共に炭焼用薪の伐採し、炭焼きを行う。	後畑多伎元氣窯
1月～2月	・窯出し & まき割り体験イベント	・地域の人たちの協力を得ながら、子どもたちを対象として後畑に復元した炭焼き窯での炭焼き体験やまき割り体験イベントを開催する。	後畑多伎元氣窯
3月	・多伎元氣な会新聞第20号発行	・多伎元氣な会の活動状況やイベント情報等を発信する。	全戸配布・HP掲載
	・事業監査(3末)	・令和6年度事業会計監査を実施する	多伎行政センター
通年	・月例会	・毎月18日を基本として月例会を開催し、情報共有、意見交換等を行う。	多伎行政センター
	・レモン畑		小田苑檸檬畑
	・かき畑の管理	・畑の草刈り・施肥・剪定を行う。	後畑柿畑

夕日を見ながら ユハンヌスっぽく (夏至祭) **ヨガ体験** in 多伎

告知

インストラクター NAMIKO

世界一幸福な国 フィンランド流ウエルネスイベント

フィンランドの夏至祭を体験しよう!

*食べ物、飲み物の試食・試飲 *文化紹介パネル展示 (ソーセージ・焼マッシュマロ・ブルーベリーティーなど)

日時 6月21日(土) 17:30～19:30 ●モルック体験 17:30～ ●ヨガ体験 18:30～

場所 多伎町コミュニティセンター 中庭(雨天は大ホール)

●募集人数 先着20名 ●参加料 1,000円/人(同伴小学生以下は無料)

●持ち物 パスタオル、ハンドタオル、飲み物

●参加申込 Tel 0853-86-3111(内線225)藤原 申込締切 6月13日(金)

メール info@taki-genki.jp 主催 多伎元氣な会

編集後記

私は、毎朝島根県民歌「薄紫の山脈」を聞きながら毎朝を迎えるが、この県民歌を知らない島根県人の多さに驚いた。この歌は昭和26年「サンフランシスコ講和条約」締結を記念して制定されたもので、作曲はあの小関裕而氏。由来はともかく一番気になるのが、3番の歌詞「・・九十万の県民の・・」の部分、つまり26年は人口が90万人いて、今年の4月1日は635,184人である事実。(たなべ)

多伎元氣な会 会員募集のお願い

多伎町を元氣な町のまま次代へ引き継ぐために皆さんの力が必要です!ご参加をお待ちしています。

お問い合わせ TEL(0853)86-3111

たぎGENKIバンド

結成メンバー大募集

ジャンルは問いません、楽器のできる人音楽で多伎を元気にしましょう!

多伎元氣な会 **活動ブログ**